



## 第8回全国バスマップサミット東京大会 開催

2010年10月30日～31日に東京・阿佐ヶ谷にて全国バスマップサミットが開催された。今回も札幌から沖縄まで全国でバスマップを作成している市民団体やNPOが集まったほか、自治体やバス事業者も参加しての意見交換が繰り広げられた。



開始に先立ちポスターセッションでは各地の最新版バスマップの展示や取り組みを紹介。RACDAでは先

日まで開催されていた『瀬戸内国際芸術祭』のアクセスマップを紹介。初参加となる高松はカーフリーデーに開催したバス停探検隊の様子と調査結果、また新たに作成された高松市バスマップを展示した。

続いて行われたシンポジウムでは杉並区・西武バス・島根と仙台の市民団体より講演があり、杉並区からはコミュニティバス「すぎ丸」の紹介と誕生までの苦難の道を紹介。西武バスからはバス路線図作成の取り組みと鉄道駅間を結ぶ『たてバス』の紹介。島根「NPO法人プロジェクトゆうあい」からはこれまでに作成されたバスブックと各種取り組みの紹介、仙台「NPO法人まちづくり政策フォーラム」からは用途に応じたバスマップ作成の取り組みをそれぞれ紹介された。

このあとのフロアディスカッションでは参加者からの質問に対して講演されたパネルが回答に



進行。なぜ事業者の作成するバス路線図には他社の路線が掲載されないのか、またどうすれば他社の路線を掲載することが出来るかを議論。バス停への

路線図掲載に関してはRACDAから城下バス停での事例を紹介。バスをもっと利用しやすくなるための意見交換を行った。

夜学・懇親会では普段関わることがない分野の方々と情報交換をしながら、交流を深めることができた。同時にクロストークとして、バスマップサミット顧問・鈴木文彦さんと北海道の沿岸バス、東京の立川バスによる「バス利用促進の取り組み ～取り組んでいる実務担当者によるクロストーク」も行われ、普段はバスに乗らないような人にバスを使ってもらうための試行錯誤を教えていただいた。

二日目は分科会で、

- 1 「バスマップ作成お悩み相談会」
- 2 「バスから始めるまちづくり」
- 3 「バスマップのWeb展開とGIS」
- 4 「使える、選ばれる公共交通実現のためにできること」



の4つに分かれてのワークショップを行った。1. ではこれからバスマップを作成したい方がどこから手を

付けていけば良いのかを話し合った。2. では市民団体が活動を行ううえで何を優先して行うべきかを“ダイヤモンドランキング”を用いて参加者と議論した。3. ではGIS (Geographic Information System: 地理情報システム) を用いたバスマップ作成の手法や国の取り組みを紹介。4. では利用者が何を求めているかをもとに今後どのような行動を行えばよいかを議論。ダイヤの定時性やのりばの快適など、これらは全て「品質管理だよね」と結論付けられた。

2日間にギュッと詰められた内容の濃いバスマップサミットとなり、どの団体とも今後の活力になっ



たに違いない。(松田和也)